JTUC
連合高知

<発行所> 連 合 高 知 No.145
2024年 1 月 1 日
日本労働組合総連合会高知県連合会
<発行責任者>池澤研吉
〒780−0870 高知市本町４丁目1−32
こうち勤労センター内
TEL（０８８）８２４−５１１１
FAX（０８８）８２４−３００２
www.rengo-kochi.jp

エネルギッシュな一年に!!

あけましておめでとうございます。日頃から連合運動への力の結集と、それぞれの持ち場・立場で日々ご奮闘されている皆さまに対して、心から敬意と感謝の意を申し上げます。

賃上げの継続と2023闘争を上回る成果を！

さて、私たち働く者にとっては様々な課題が山積していますが、まずは「2024春季生活闘争」に全力を尽くしたいと考えます。2023闘争の全体集計では従来以上の大きな賃上げを実現しましたが、「この波を単年度で終わらせてはいけない」との強い思いです。あらためて労働組合としての取り組みで一丁目一番地とも言える「労働条件の維持・向上」に向けてしっかりと力を傾注し、すべての働く者のために連合がその牽引役を果たしていく、その思いを共有しておきたいと考えます。

「甲辰(きのえたつ)」という干支

ところで、2024年は辰年ですが、本来の干支でいうと甲辰（きのえたつ）というそうです。「甲」の字は、第1位とか優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表すとされています。また「辰」は、十二支の中では唯一の架空の生き物である龍（竜）を意味し、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この2文字の組み合わせである甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起の良い意味合いがあるそうです。

皆さま方にとって、「空高く昇ろうとする龍のようにエネルギッシュな一年」になることをご祈念申し上げて、新年にあたっての挨拶といたします。

本年もよろしくお願いいたします。

連合高知会長
池 澤　研 吉

連合高知 第35回 定期大会開催

社会を新たなステージへ！

～ともに歩もう、ともに変えよう～

連合高知は11月21日に定期大会をおこない、「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう」をスローガンとする運動方針（2024～2025）を決定した。大会には代議員73名（女性代議員参加率24.6%）、女性特別代議員7名、特別代議員4名、執行委員24名が参加した。

連合高知　池澤研吉会長

来賓には連合本部小熊副事務局長をはじめ多くの方々に参加いただき、それぞれの立場からあいさつを頂いた。

第1号議案では、物価高や中長期にわたる国内外の構造的課題を踏まえ「社会経済のステージ転換に向けて」を基調とする“3つの重点分野と5つの推進分野”を満場一致で承認した。また、第2号議案の「2024春季生活闘争に向けた闘いの基調」も確認した。6号議案では「連合高知ＨＰ掲載記事に関する“損害賠償訴訟 高裁判決”」についてこれまでの経緯が執行部から報告された。そのうえで、今後の裁判闘争の方向性を全体で確認した。

新体制スタート！“連合運動への力の結集”を！

本大会から、今後2年の新・執行部体制がスタートする。2期目を迎える池澤会長は「労働者一人ひとりの力は微力であっても、支え合い助け合いながら思いと力を結集させれば、大きな力となる。組織された私たちには、社会の不条理に立ち向かい、すべての労働者をまもり・つなぐ、そして社会の牽引役として運動を展開しながら仲間を増やし、共感を得ていく、そういった役割発揮が求められている。そのうえで、“連合運動への力の結集”をあらためて呼びかける。ともに頑張ろう！」とあいさつをした。

「働くことを軸とする安心社会」を総がかりでめざしていこう！

大会の最後には、「働くことを軸とする安心社会を、組織の総がかりでめざしていこう！」とする大会宣言を採択し、池澤会長を筆頭とする新年度がスタートした。

第35回定期大会「団結ガンバロー」

［活動報告・議案に関する質疑○・応答●］

《活動報告について》

【日教組高知　陰山代議員】

日教組高知
陰山代議員

○ 毎年の最低賃金審議会の中では、以前から使用者側の頑なな姿勢の中で労働者側との攻防が続いている。それは、近年では特に中小零細企業の厳しい経営状況から、原材料や燃料等の高騰により価格転嫁ができず、思うように賃上げが進まない状況にある。このようなことを踏まえ、最低賃金1,000円以上を実現するために、中小零細企業への経営支援策についての政策制度要求等の取り組みがあれば教えていただきたい。

● 最賃に関わる政策課題については、県に申し入れをしている。具体的には、県の単独事業として中小・小規模事業主の社会保険料事業主負担分について（18%程度）、時限付の補助を要請した。結果、その要請は通ることはなかったが、この間、政治の場でも議論されていることを踏まえて、オールジャパンで世論を動かしていく必要がある。連合高知としても引き続き要請していく。

○ この間の政治闘争について、最近の「広田選挙」ではSNS素材を連合高知から発信していただいたことで、若者に有効的で且つ定着した政治闘争ができた。今後はさらに、連合高知の社会的な役割と意義など、SNSで使用できる素材等を発信する取

り組みを進めていただきたい。また、現状の中での課題等があれば教えていただきたい。

そのうえで、連合高知とノウハウを持った若者が協力し、SNSを発信する体制づくりをお願いしたい。

● 政治活動のSNSの発信については、現在、連合高知事務局体制が不十分な中、奮闘しながら取り組みを進めている。そのうえで、是非、皆さんのお知恵を拝借しながら、前向き且つ積極的に取り組んでいきたい。

○ 国際連帯について、連合高知はこれまで“反戦平和と人権”や“核兵器全廃”、また、ロシアのウクライナ侵攻においては“侵略行為を許さない”取り組みを進めてきたところである。このような経緯を踏まえ、今回の“ガザ地区侵攻”において、今後、街頭行動など連合高知の取り組みがあれば教えていただきたい。

● ガザの紛争については、本部が談話を発信しているが、連合高知として街頭活動などの独自の活動には至っていない。しかしながら、実施すべきと考えている。ウクライナ侵攻、ガザ侵攻の問題を含め、改めて、憲法の三原則である平和主義の重要性を認識しながら、武力による紛争の解決を永久に放棄するということを、私たちは確認しなければならない。

【電力総連　松本代議員】

電力総連
松本代議員

○ 政治活動について要望する。今回の「広田選挙」勝利は、連合高知一丸となった取り組みの成果と確信している。今後も“風穴をあける”政治活動として進めていっていただきたい。

そのうえで、各選挙戦において動員要請のかかるタイミングが遅く、組織の中で調整に時間がかかることがあった。候補者陣営の事情があることを承知のうえで、動員への協力体制を徹底するためにも、早めの動員要請を要望する。

● 動員要請のタイミングについては、連合高知事務局の伝達不足で遅れていることもある。お詫びを申し上げたうえで、できるだけ早急な対応に努めていく。引き続きご理解とご協力をお願いしたい。

《第1号議案について》

【自治労　武内代議員】

自治労
武内代議員

○ “地方から政治を変えていく、地方のことは地方で決めていく”、これを実現するためにも、連合高知においては、ぜひ地域の実情を踏まえて、各構成組織が結集しうる推薦候補者の擁立に引き続きご尽力いただきたい。各構成組織において様々な思いはあるが、連合高知推薦候補に関しては、一丸となって支援していただく体制を築いていただきたいと考えており、連合高知の政治闘争において引き続きの取り組みをお願いする。

● 現時点で、連合の方針である「反自民・非共産」は変わっていない。しかし、“自民一強政治に風穴を開ける選挙”として勝利することを考えると、その手法は考えなくてはならない。そのためには、良し悪しは別にして、その時々の政治状況や布陣を客観的に把握しておくべきである。一方で、我々は大衆組織であることを忘れてはならない。政党と労働組合の立場の違いをわきまえたうえで連携を考えていく必要がある。

このようなことを踏まえて、連合高知はその時々に“的確な方針”を出して組織が一丸となって対応できる体制を追求していきたい。

【日教組　陰山代議員】

日教組高知
陰山代議員

○ 第1号議案「社会保障・教育と税制に一体改革に向けた取り組み」、“学校の働き方改革”について、現在、教職現場では学校が厳しい労働環境であるが故に人材不足に陥っている。

時間外労働でいうと、子どもたちに必要としてかけている時間外労働も、教職員の自主的な業務として捉えられている。これを単純に手当にするということではなく、根本的に子どもと向き合う時間を確保し教職員が心身ともに安定して、教育に取り組める環境整備が必要である。このことについて、日教組は各関係団体の協力を得ながら社会的発信をおこなってきた。連合高知においても、街宣行動などの社会的な発信について支援していただきたい。

●“学校の働き方改革”は教職員の話だけではなく本質的には“子どもを社会全体でどう育て守っていくか”ということの一環として、“労働者がどうあるべきか”ということである。また、教職現場労働者や労働組合と保護者、行政が一体となってこの問題と向き合い、社会全体の子どもたちをどのように教育していくかということに尽きる。給特法については労働法制に則って整理し、割増賃金を支払うのが本筋である。このようなことも踏まえ、連合高知としても、日教組高知とともに社会発信していきたいと考えている。

《第4号議案について》

【自治労　長谷川代議員】

自治労
長谷川代議員

○ 労働相談について、SNS等を活用した取り組みを進めていただきたい。また、連合高知の予算や活動がルーティン化することのないよう、労働相談も含め地域に根ざした活動を活性化させる意味で積極的な活動を希望する。

● 労働相談については2021年12月から、3局（東京・名古屋・大阪）集中の受電となっている。連合高知の管轄は大阪局が担当しており、連合高知管轄内の労働相談電話は大阪が受電している。連合高知で対応しなければならない案件は、その都度、大阪のセンターと連携して対応している。一方で、労働相談集中受電となったことで、SNS発信による周知をすると混乱を招きかねないことから、発信の仕方については検討していきたい。また、相談活動のための予算は措置している。

連合高知　今後の予定《2024.1～2024.2》

1月31日（水）14:00～・連合四国ブロック「2024春季生活闘争推進会議」（三翠園）
2月 2日（金）14:00～・連合四国ブロック「2024年 女性会議」（高松）

2月16日（金）14:30～・連合高知 第69回地方委員会（三翠園）
18:00～・2024春季生活闘争「闘争開始宣言集会」（三翠園）

連合高知　Facebook　検索

Facebookでも様々な情報発信をしています！
是非、ご覧ください。

新役員です。よろしくお願いします！

会 長
池澤　研吉
（電力総連）

会長代行
中平　正幸
（自治労）

副会長
飛田　洋一
（ＵＡゼンセン）

副会長
山﨑　永鎮
（ＪＰ労組）

副会長
松木　伸介
（電力総連）

副会長
西原　正雄
（ＪＡＭ）

副会長
田鍋　進
（紙パ連合）

副会長
白木　政行
（私鉄総連）

副会長
坂本　寛
（情報労連）

副会長
宮口　淳一
（森林労連・林野労組）

副会長
髙石　昌諭
（日教組）

副会長
井上　康子
（女性委員会）

事務局長
市川　稔道
（全水道）

副事務局長
丸山　玲子
（事務局）

執行委員
山﨑　幹生
（自治労）

執行委員
永野　真美
（自治労・競輪競馬労組）

執行委員
松永　伸一
（ＵＡゼンセン）

執行委員
程岡　範人
（運輸労連）

執行委員
稲垣　良太
（自動車総連）

執行委員
河野　憲司
（ＪＲ連合）

執行委員
依岡　真史
（全水道）

執行委員
片岡　裕貴
（電機連合）

執行委員
竹内　政雄
（国公総連）

執行委員
山﨑　隆也
（ＪＥＣ連合）

執行委員
田内　心
（高知ユニオン）

執行委員
小田　純
（青年委員会）

執行委員
岡林　ゆり
（女性委員会）

執行委員
岩原真由子
（女性枠）

会計監査
窪内　啓介
（全労金）

会計監査
柚村　勉
（全国ガス）

会計監査
刀禰　康太
（労済労連）

～　退任された役員の方々　お疲れさまでした。～

副会長
佐々木　徹
（ＵＡゼンセン）

副会長
古谷　淳市
（電力総連）

副会長
山岡　千佳
（情報労連）

副会長
梶原　浩二
（森林労連・林野労組）

副事務局長
西村里佳子
（自治労）

執行委員
桑名　佑弥
（自動車総連）

執行委員
西川　伸之
（自動車総連）

執行委員
濱口　翼
（ＪＲ連合）

執行委員
中川　正将
（電機連合）

執行委員
森田小百合
（女性委員会）

会計監査
中桐　良太
（全労金）

会計監査
深井　泰之
（労済労連）